

2025年度第2学期山梨学習センターゼミ

講師名	開催予定日	テーマ	ゼミ概要
詳細		ゼミの進め方	受講生へのメッセージ及び用意するもの
村松 俊夫 (センター所長) 【曜日】第2水曜日 【定員】5名 【時間】13:30-15:00 【会場】会議室	① 10月8日	視覚トリック鑑賞会 — 錯視芸術の世界 — 眼で見ることの“あいまいさ”を、スライド鑑賞を中心に楽しく学んでいきます。 眼に係る錯覚である「錯視」や、その錯視をもとにした古今東西のアーティスティック、もしくはトリッキーな「錯視芸術作品」について、その原理や仕組み・仕掛けについて話し合っていきたいと思っております。	「百聞は一見に如かず」という有名なことわざがあります。「他人からあれこれ百回聞くよりも実際に自分の眼で一目見た方が確実だ」といった意味です。本当にそれほど「眼で見る(視覚)」という行為は信用できるものなのでしょうか？その視覚の“不確かさ”を見ていきましょう。 特段の予備知識は必要ありません。回によって作図や工作を行います。三角定規やコンパス、ハサミなどの道具類、紙などの材料は学習センターに用意してあるものを使用します。
	② 11月12日		
	③ 12月10日		
	④ 1月14日		
	⑤ 2月18日(第3)		
	⑥ 3月4日(第1)		
大山 拓次 (山梨大学教授) 【曜日】第4水曜日 【定員】5名 【時間】10:40-12:10 【会場】実習室	① 10月22日	タンパク質構造入門 地上の生物に命を吹き込んでいる様々なタンパク質分子について学んでいただきます。前半は、講師がこれまでに出会ったユニークな構造を持つタンパク質を紹介し、後半では、受講者の皆様それぞれが興味を持つタンパク質について、構造と機能の相関を議論したいと思います。	固有の機能を発揮することで、私達はようやく健康に生きることができま。タンパク質は原子レベルで設計された構造を持っています。構造に基づく機能の仕組みを知れば、生命に対する考え方が今までとは大きく変わるかもしれません。 生化学の予備知識があれば、より深く理解していただけますが、事前知識が少なくても、授業を通して理解していただけるような内容をご提供できればと考えています。
	② 11月26日		
	③ 12月24日		
	④ 1月28日		
	⑤ 2月18日(第3)		
	⑥ 3月25日		
岡松 恵 (山梨大学准教授) 【曜日】第2木曜日 【定員】5名 【時間】10:40-12:10 【会場】実習室	① 10月9日	文様に惹かれて 毎回、受講生の皆様に、“ご自身の惹かれた(日本の)文様”を一つ紹介してもらうことから、ゼミがスタートします。その後皆でディスカッションを行い、そこで得たヒントを糧に、ご自身でさらに調べ学習をしてもらいます。最終回ではまとめたものを披露しあいます。	身の回りに残る昔の文様を、文化史研究の手法を用いて調べてみましょう。由来や表現など、様々な角度からじっくり調べてみることで、その文様の持つおもしろさや魅力に改めて気づかされることでしょうか。また昔の日本人の美意識や心情に触れることができるかもしれません。 特段の予備知識は必要ありません。事前学習(毎回一つ文様を探すこと)や事後学習(その文様について調べてまとめること)が必要となります。方法については第一回で説明します。
	② 11月13日		
	③ 12月11日		
	④ 1月8日		
	⑤ 2月12日		
	⑥ 3月10日(第2火曜日)		
尾形 大 (山梨大学准教授) 【曜日】第2水曜日 【定員】6名 【時間】10:40-12:10 【会場】実習室	① 10月1日(第1)	近代の短編小説を読む 初回の授業時に各回で取り上げる小説を決めます。各回1~2名に簡単な報告をしてもらい、そのうえでその小説について各自の事前学習をもとに話し合いをおこないます。	「小説の面白さ」とは何でしょうか？奇想天外なストーリーや魅力的な登場人物といった点だけが小説の「面白さ」ではありません。小説はどのように読むことができるのか、その方法や視点を学ぶことをとおして、さまざまな小説の世界の奥行きと広がりを実感することを目的とします。 各回であつかう小説はこちらで印刷したものを用意します。ゼミ生は必ずその小説を読み、自分なりの意見や考えを準備して授業にのぞんでください。次第に小説を読むうえでの視野が広がっていくことを実感できるように、真剣かつ楽しみながら授業を進めていきましょう。
	② 11月12日		
	③ 12月10日		
	④ 1月14日		
	⑤ 2月4日(第1)		
	⑥ 3月26日(第4木曜日)		
菊地 淑人 (山梨大学准教授) 【曜日】第3火曜日 【定員】5名 【時間】10:00~11:30 【会場】会議室	① 10月21日	地域の歴史文化と観光/まちづくり 参加者の皆さんに、毎回、興味をもった事例などを話題提供してもらい、それを踏まえて地域文化の価値、魅力とそれを活かした観光地づくりの事例などについてディスカッションを行います。	身近なところにも様々な文化資源(歴史的建造物、遺跡、博物館・美術館に所蔵された美術工芸品など)があります。その価値や魅力は何なのでしょう。また、観光やまちづくりにとはどのように役立つのでしょうか。事例を考えながら、くらしのなかの歴史文化の役割を考えましょう。 事前の予備知識は不要です。歴史文化に馴染みのある方もない方も、地域の文化やまちづくりを見つめ直すきっかけになることを願っています。
	② 11月18日		
	③ 12月16日		
	④ 1月13日(第2)		
	⑤ 2月17日		
	⑥ 3月24日(第4)		
田中健史朗 (山梨大学准教授) 【曜日】第3 or 4水曜日 【定員】6名 【時間】10:40-12:10 【会場】会議室	① 10月22日(第4)	人の「こころ」(心理)について考える 各回で取り上げるテーマを決め、そのテーマについて各自事前学習を行っていただきます。ゼミでは各自の事前学習をもとに討議を行います。	人の「こころ」に関心をもち、その心理を掘り下げ、本質的な問題や課題が何であるのかについて理解することを目指します。また、支援者として支援する方法を獲得することを目指します。 取り上げるテーマについて事前学習が必要です。事前学習の仕方について第1回ゼミで説明します。
	② 11月26日(第4)		
	③ 12月17日(第3)		
	④ 1月21日(第3)		
	⑤ 2月18日(第3)		
	⑥ 3月18日(第3)		
鳥山 孝司 (山梨大学准教授) 【曜日】第3木曜日 【定員】6名 【時間】13:30-15:00 【会場】実習室	① 10月16日	走るを科学する 前半は、走るとは何か？その正しい動きは？走りの練習方法はといったものを紹介し、その基本的な動き作りに取り組みでいきます。実際に走るまでの運動はしません。後半は、受講者が実際に取り組むための練習のプランニングについて考えていきます。	速く、長く走れる走り方は？怪我をしない走り方は？運動力学、生理学などの観点からこれらについて考えていきます。単純な運動ですが、奥深さに触れてみませんか？ これから運動を始めたいという方から、大会で結果を出したいという方までの広い範囲を扱いたいと思います。歩き方などの身体の使い方を確認する運動もしたいので、動きやすい格好での参加が望ましいです。
	② 11月20日		
	③ 12月18日		
	④ 1月15日		
	⑤ 2月19日		
	⑥ 3月26日(第4)		